

熊本博物館ニュース

2019年10月



特別展

熊本城特別公開記念

追憶の熊本—画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶—

旧制・熊本中学校の美術教師を務めた画家・甲斐青萍(1882-1974)が描いた熊本の町並図を中心に、関連する様々な資料を交えながら熊本城下の歴史の変遷をたどります。

【観覧料】 一般:500円 高校・大学生:400円 小・中学生:300円

① 講演会「甲斐青萍が描いた熊本町並図から見えること」

日時:10月12日(土) 13:30-15:30 場所:熊本博物館 講堂
講師:伊藤重剛(熊本大学名誉教授) 定員:50名(当日先着順、事前申込不要)

② 熊本城下まち歩き「甲斐青萍が描いた場所を訪ねて」

日時:10月26日(土) 13:30-15:30
集合場所:熊本博物館 講堂
解散場所:熊本市役所前(予定)
講師:伊藤重剛(熊本大学名誉教授)
定員:15名(当日先着順、事前申込不要)
※当日10時より熊本博物館受付にて整理券を配布します。



③ 講演会「熊本地震からの城下の復旧について」

日時:11月4日(月・振休) 13:30-15:30
場所:熊本博物館 講堂
講師:富士川一裕
(NPO法人熊本まちなみトラスト事務局長)
定員:50名(当日先着順、事前申込不要)

④ 展示解説

日時:10月5日(土)、11月2日(土)、11月9日(土)、11月23日(土・祝)
各回14:00~(約40分間)
場所:熊本博物館2階 特別展示室1・2・3
定員:20名程度(当日先着順、事前申込不要)※博物館入場料のほかに本展観覧料が必要です。

※①~④への参加には博物館入場料が必要です。また、特別展の観覧には別途観覧料が必要です。

プラネタリウム



星屑の鉱石ラジオ

—宇宙の創生 インフレーション理論—

宇宙の始まりに何があったのか。不思議な空間に集まった、少年とハドロサウルス、ニホンイタチ。彼らの前にあるのは、不思議な鉱石ラジオと四つの鉱石。宇宙に溢れるあらゆる「波」の音をとらえる鉱石ラジオとともに、宇宙の始まりを体感しましょう。

【一般投映】
~12月1日(日)

天文講演会

似ている?似ていない??「あかつき」金星の素顔に接近中

その大きさ・重さなどがよく似ているため、「地球の双子星」とも呼ばれる金星。日本の探査機「あかつき」が金星周回軌道から見た、その素顔は?地球と似た星?それとも似ていない星?最新の金星科学をわかりやすく紹介します。

日時:10月26日(土) 15:00~16:30
対象:どなたでも 定員:170名 費用:無料(博物館入場料が必要)
講師:佐藤毅彦(JAXA 宇宙科学研究所教授)
※当日9時より受付にて整理券を配布します。



子ども科学・ものづくり教室

小学3年生以下は保護者同伴で参加してください

葉脈標本で「しおり」を作ろう

植物の葉脈をラミネート加工して、「しおり」を作ります。
日時:10月26日(土) 13:30~14:30
場所:熊本博物館 実験・工作室 対象:小中学生 定員:30名(抽選)
費用:入場料(熊本市内の小中学生は無料)
申込:教室名、住所、氏名、学年、電話番号を明記し、熊本博物館HPの申込専用フォームまたは往復はがきによる応募(10月18日必着)



イベント

小学3年生以下は保護者同伴で参加してください

科学実験で宇宙・惑星・地球の不思議を体験しよう!

日時:10月27日(日) 10:00~15:00
【はかせと実験】
手作りラジオで電波星をめざせ(★要予約・先着36名)
ピンポン球惑星工作(★要予約・先着64名)
折り紙で自分の生まれた日の地球を作ろう(予約不要)
光のフシギをしらべよう!(予約不要)

★要予約の実験は下の特設ページからお申し込みください。
http://sgepps.org/ornew/sgepps_event2019
受付開始:10月18日(金)20時~

日	月	火	水	木	金	土
10月		1	2	3	4	5 追憶の熊本 展示解説
6	7 休館	8	9	10	11	12 追憶の熊本 講演会
13	14 体育の日	15 休館	16	17	18	19
20	21 休館	22	23	24	25	26 天文講演会 追憶の熊本まち歩き 子ども科学
27 科学実験イベント	28 休館	29	30	31		

